

【部局長シート】

令和元年度 議会事務局の「実行宣言」

作成者 (評価者)	局長	白藤 哲央
--------------	----	-------

基本方針と使命
議会事務局は、議事機関としての議会および議員の活動をサポートする機関です。 議会は、二代表の下、市民の代表としてその負託と信頼に応えるため、政策に対して重要な意思決定を委ねられているとともに、監視機能や調査機能を有し、市政が適正に行われているかをチェックしています。こうした議会の権限と責任は大きく、議会をサポートする議会事務局の役割も大きいといえます。 議会改革の推進を図り、広報広聴機能の充実と、市民の声を反映した政策課題に取り組む委員会活動をサポートしていきます。

『松阪市総合計画』 との関わり	—
--------------------	---

平成30年度の評価			
評価基準…S (100%以上)、A (90~99%)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)			
宣言①	議会白書の作成と、委員会活動等での 政策課題への取組をサポートします。	評価	S
【評価理由】 「松阪市議会のトリセツ（議会白書）」が議会改革特別委員会の編集の下、11月に完成し市内へ全戸配布するとともに議場見学者に説明しました。また、政策課題への取り組みとして委員会活動のサポートを行い、執行部に対して提言を実施しました。			
【対応方針】 今後も引き続き事務局として、委員会活動等のサポートを続けていきます。			
部局マネジメント方針			
情報共有とチームワークで、議会活動をサポートします。		評価	A
議会改革の推進に向けて、職員も意識向上に取り組めます。		評価	A



令和元年度 「実行宣言」			
宣言①	議会及び委員会活動のサポート体制の強化に努めます。		
部局マネジメント方針			
事務局内の情報共有を図り、議会活動をサポートします。			
積極的な職員研修等の参加で、資質向上と事務局体制の強化を図ります。			

【課長シート】

組織名	議会事務局	作成者（評価者）	局長 白藤 哲央
関係する 「実行宣言」	平成30年度	議会白書の作成と、委員会活動等での政策課題への取組をサポートします。	
	令和元年度	議会及び委員会活動のサポート体制の強化に努めます。	
関係する『総合計画』施策	-		
課の基本方針と使命			
<p>議会事務局は、議事・調査・総務の業務体制で、円滑な議会運営に努めています。議会の権限である議決権や検査権、調査権などが十分に機能し、市民福祉の向上に資することが議会の使命であり、事務局として、議会活動をサポートします。そして、「開かれた議会」に対応すべく、議会の活動を市民に周知し、議会への市民参加を促すための広報広聴機能の充実が必要と考えます。令和元年度は、議会改革の取組として、議会のICT化検討及び委員会活動を充実・強化等するためのシステム構築があり、適切なサポートに努めます。</p>			

平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会活動事業では、議長、委員長等の議事及び議員活動をサポートし、円滑な議会運営に努めました。 ・ 議会広報事業では、議会だより「みてんか」の発行（年5回）と松阪市議会のトリセツを全戸に発行しました。また、市ホームページ、「ぎゅっと松阪（フェイスブック）」への議会情報の発信をタイムリーに行いました。 ・ 職員が議会運営及び法務能力の向上に資する研修会等に参加し、事務局体制の強化に努めました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会活動事業では、専門的知見の活用を目標値まで実施することができませんでした。このことについては、該当する案件がなかったことが挙げられます。 ・ 政務活動費補助金交付率の実績が59%であったこと、平成30年2月定例議会並びに8月臨時議会で、特別委員会がそれぞれ設置されて活発に協議されたことも一つの要因であると考えます。 ・ 会議録作成で、2月、6月、9月議会の議事録が次期定例議会までに作成できなかったことは、平成30年2月定例議会並びに8月臨時議会で、特別委員会がそれぞれ設置されて活発に協議されたことでサポートする事務局職員の負担が大きかったことも一つの要因であると考えます。 ・ 議会一般経費でコピーカウント料が目標を達成できなかったことについては、平成30年2月定例議会並びに8月臨時議会で、特別委員会がそれぞれ設置されて活発に協議され、膨大な資料作成になったことも一つの要因であると考えます。

【議会事務局】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
1	議会活動事業費	一般	-	8,838	/	専門的知見の活用		→ 現状維持	9,371	/	議会研修会の実施		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						4回	1回				E	1回			
2	政務活動費補助金	一般	-	8,400	/	議員の調査研究等の活動費を交付		→ 現状維持	8,400	/	補助金の適切な交付		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						100%	59%				C	100%			
3	議会広報事業費	一般	-	11,327	/	わかりやすい議会白書の作成と全戸配布		↘ 縮小	9,407	/	広報発行部数		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						1回	1回				S	65,000部/年4回			
4	会議録作成事業費	一般	-	5,060	/	会議録を次期定例会までに作成		→ 現状維持	5,176	/	会議録を次期定例会までに作成		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						4回	1回				E	4回			
5	議会一般経費	一般	-	7,772	/	コピーカウント料の対前年度比の削減		→ 現状維持	8,985	/	コピーカウント料の対前年度比の削減		→ 現状維持		
						目標	実績				評価	目標		実績	評価
						5%	△67.5%				E	5%			